

第7次日吉津村総合計画 後期計画(案)

(令和8年度～令和12年度)

みんなで創る

元気な村

住み続けたい

日吉津村



令和8年 月
鳥取県日吉津村

目 次

はじめに	1
政策体系	2
計画の内容	
政策1) 豊かな心をはぐくむ むらづくり	
施策1) 誰もが学び 誇れるむらづくり	
基本事業1) 人権尊重社会の実現	3
基本事業2) 生涯学習の推進	4
基本事業3) 文化・芸術の振興	5
施策2) 子どもが生き生き育つ むらづくり	
基本事業1) 子育て支援の充実	6
基本事業2) 学校教育の充実	7
政策2) 自然と調和する 住みよいむらづくり	
施策1) 暮らしやすい むらづくり	
基本事業1) 快適な生活環境の整備	8
基本事業2) 時代に即した快適で便利な環境整備	9
施策2) 安心安全な むらづくり	
基本事業1) 安心安全なむらづくりの推進	10
基本事業2) 環境にやさしい暮らしの推進	11
政策3) 健康でともに支え合う 活力あるむらづくり	
施策1) 元気に暮らす むらづくり	
基本事業1) 健康づくりの推進	12
基本事業2) ささえあいのむらづくりの推進	13
施策2) 活力ある むらづくり	
基本事業1) 持続可能な農業と商工の振興	14
基本事業2) 移住定住の促進	15
施策3) とともに築く むらづくり	
基本事業1) 協働のむらづくりの推進	16
基本事業2) 地域の魅力発信	17

はじめに

令和8年3月

日吉津村長 中田 達彦



本村は、令和3年3月に第7次総合計画(令和3年度～令和12年度)を策定し、「みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村」をめざす村の姿(将来像)として、令和3年度～令和7年度まで前期計画に基づき各種施策を推進してきました。

また、同時に「まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月28日法律第136号)」第10条の規定に基づく第2期日吉津村地方創生総合戦略(令和3年度～令和7年度)を令和3年2月に策定し、人口減少・少子高齢の対策として、これまで推進してきた定住施策や子育て施策に加え、「関係人口」の創出・拡大などによる地域活性化にも取り組んできました。

村民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、誰もが互いに尊重され、安心・安全で快適な生活を確保し、活力や豊かさを実感しながら暮らしていくことが求められている昨今、そうした村づくりを実現するため、日吉津村の温かい人と人とのつながりや、顔の見える関係性を大切にしながら、村民一人ひとりの知恵と力を最大限に活かして取り組む、今後5年間の指針として、この度、第7次総合計画後期計画を策定しました。

本計画では、第7次総合計画の中核である基本構想はそのまま継承し、分野別のむらづくりの計画である基本計画のみを策定し、地方総合戦略の具体的な事業を内包することにより、第3次日吉津村地方創生総合戦略(令和8年度～令和12年度)と一体化させ、より総合的・効果的に施策を展開していきます。

「村民が村づくりの主役である」ことをあらためて認識し、これから先も、「誇れるむら・帰ってきたいむら・暮らしたくなるむら・暮らし続けたいむら」として着実な発展を遂げ、子どもから大人まで村民一人ひとりが自信と誇りを持って暮らせるむらであるよう、めざす村の姿(将来像)の実現に取り組めます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご審議を賜りました日吉津村総合振興計画審議会並びに日吉津村地方創生推進会議の皆様をはじめ、村議会、各自治会、各種委員会、村民アンケート・パブリックコメントなどを通して貴重なご意見・ご提言をいただいた皆様に対し、心からお礼申し上げますとともに、今後の村づくりに対し皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

政策体系

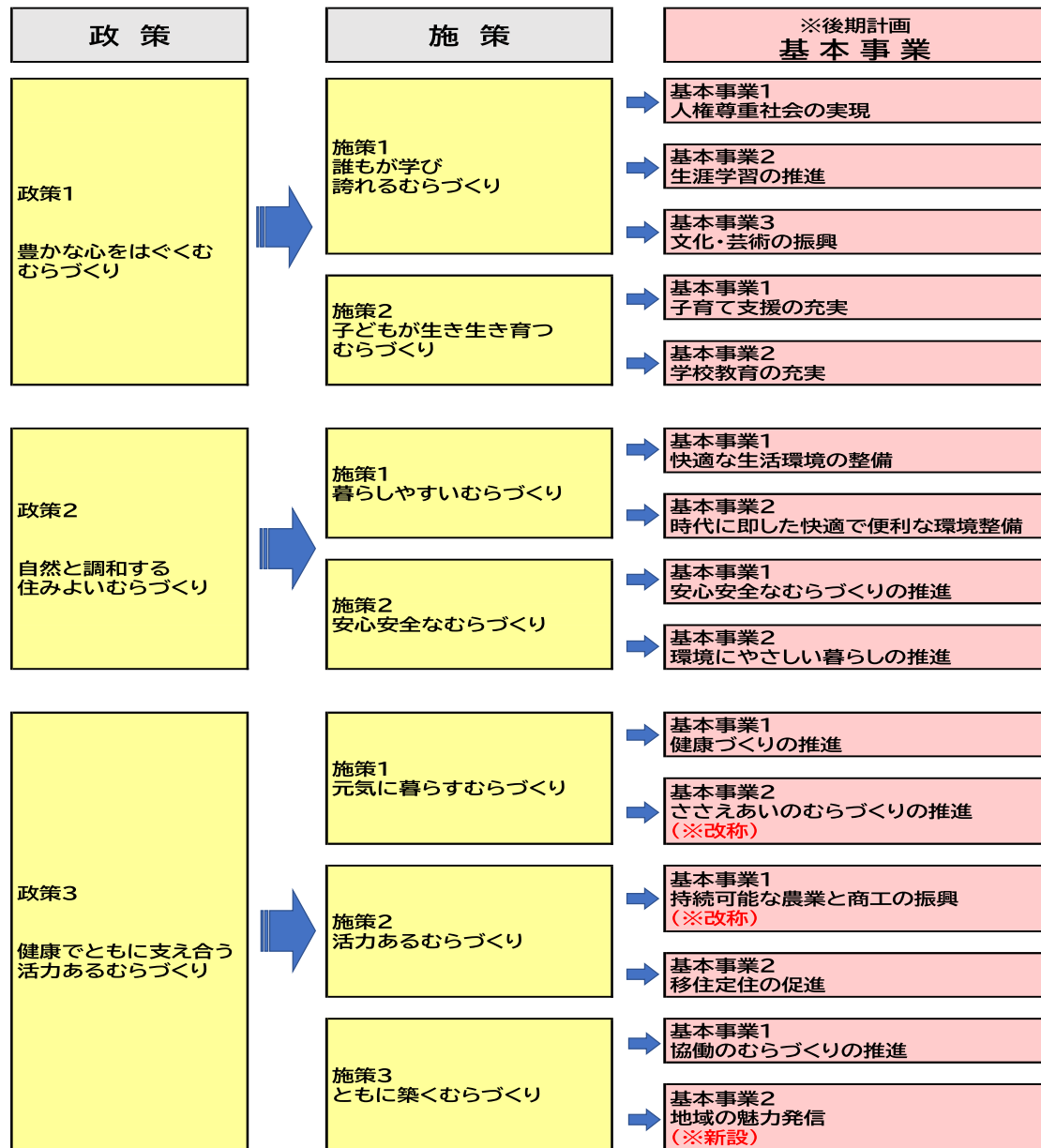
第7次日吉津村総合計画 第3期日吉津村地方創生総合戦略

基本構想

挑戦 協働 健康

めざすむらの姿(将来像) : みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村

基本計画



政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業1)人権尊重社会の実現

1 5年後のめざす姿

○村民一人ひとりがお互いを思いやる豊かな心を持ち、安心して暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・「人権尊重の村」宣言の精神
- ・「日吉津村民憲章」の精神
- ・お互いを思いやる気持ち
- ・顔がみえる安心できるつながり
- ・地域の中で日々交わされる挨拶

【改善したいこと】

- ・国籍や性別、年齢、障がいの有無による差別や偏見の存在
- ・時代に合わない慣習や性別による役割分担の存在
- ・住民となった時期の違いによる意識の違い

3 今後の方向性

- ① 地域の寛容性を高め、様々な違いを持つ人たちがお互いに認め合い、誰一人取り残されない自分らしく暮らせる社会づくりに取り組みます。
- ② 一人一人が自他の権利を正しく理解し、差別や不合理に気づき、考えて行動できるよう、啓発活動や研修実施に取り組みます。
- ③ 人権について相談できる体制の周知を行い、活用を促進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
国籍や性別、年齢、障がいの有無に関係なく、だれもが平等に扱われていると感じている方の割合 (村民アンケート)	男30%、女20% (参考値)	男35%、女25%	男40%、女30%

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業2)生涯学習の推進

1 5年後のめざす姿

- 子どもたちが様々な体験をとおして、健やかに育っています。
- 一人ひとりが学習意欲を高めることで、輝き心豊かな人生を送っています。

2 前期基本計画での成果と問題

- | | |
|--|---|
| <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾の活動 ・中・高生サークルの活動 ・様々な講座、イベントをとおした幅広い年代の人々の交流 | <p>【改善したいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が生涯学習やスポーツ活動に参加しやすい環境づくり |
|--|---|

3 今後の方向性

- ① コミュニティセンターのグループ活動に繋がる講座や教室を開催するとともに、主体的に活動する団体やリーダーの育成に努めます。
- ② 地域住民とともに、中・高生サークルの活動を支援します。
- ③ GUTS 日吉津っ子(※)を育成します。
- ④ 村民が気軽にスポーツに親しみ、心身の健康を維持し、いきがづくりにつながるよう取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
ヴィステヒえづの利用者数	32,747人	32,850人	32,950人
村または実行委員会等が主催するスポーツに触れる機会(イベント含む)の数	13回	13回	13回

※用語説明

GUTS 日吉津っ子…G=がんばる子ども、U=ゆったりと育つ子ども、T=たかましい子ども

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策1)誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業3)文化・芸術の振興

1 5年後のめざす姿

○だれもが歴史・文化・芸術に触れ、親しんでいます。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

・日吉津村として蓄積した歴史・文化・芸術

【改善したいこと】

・日吉津村の歴史・文化・芸術に関する
学びや発表の場の創出

3 今後の方向性

- ① 地域の歴史や文化、芸術に触れ、学びを深める機会を創出するとともに、住民同士の交流を促進します。
- ② 民俗行事などについて聞き取り調査や映像記録を行い、継承します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
村又は実行委員会が主催する文化イベントの年間開催数	7回	7回	7回

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策2)子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業1)子育て支援の充実

1 5年後のめざす姿

○子育て世帯が安心して出産や子育てができ、子どもが健やかに成長しています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・ミライトひえづの適正管理と体制の充実
- ・ネウボラの推進
- ・相談体制の充実

【改善したいこと】

- ・児童館の運営体制
- ・放課後の子どもの居場所づくり

3 今後の方向性

- ① ミライトひえづ(ひえづこども園・児童館)の受入体制を整え、利用希望者全てを受入れます。
- ② 新たな放課後の子どもの居場所づくりに取組みます。
- ③ 子育てに関する相談体制の充実を図り、子育ての不安の解消に努めます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
出生による住民登録者数	24人	30人	35人
保育施設利用者数	165名	170名	175名
小学校児童数	236名	240名	245名

政策1)豊かな心をはぐくむ むらづくり
 施策2)子どもが生き生き育つ むらづくり
 基本事業2)学校教育の充実

1 5年後のめざす姿

○子どもがなかまとともに学び続け、心身ともに健やかに育っています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・校庭の芝生化など温かい地域の方々とのかかわり
- ・コミュニティ・スクール(※)での熟議
- ・OKJ(※)を中心とした授業づくり
- ・児童及び教職員のICT活用

【改善したいこと】

- ・コミュニティ・スクール(※)において、学校、家庭、地域の子育てにおける役割を時代に合わせ再検討

3 今後の方向性

- ① 学校、家庭、地域が協働し、子どもたちを育てます。
- ② 第2期 GIGA スクール構想(※)に基づき、ICTなど教育環境の充実を図ります。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
学校運営協議会からの提案 (毎年1件)	1件	1件	1件

※用語説明

コミュニティ・スクール…学校運営協議会のある学校のこと。地域とともにある学校づくりを推進する。

OKJ…「教えて考えさせる授業」。基礎、基本の定着を目指した授業スタイルの1つ。

第2期 GIGA スクール構想…文部科学省の取組。児童生徒に1人1台タブレット端末と高速ネットワーク環境を整備し、個別最適化された学びと協働的な学びの実現を目指す。

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策1)暮らしやすい むらづくり
基本事業1)快適な生活環境の整備

1 5年後のめざす姿

○インフラ施設(道路・上下水道・公園)が適正に管理され、村民が安心・快適に暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・安心・安全に通行できる道路
- ・安心して利用できる上下水道
- ・村民が利用しやすい公園

【改善したいこと】

- ・海浜運動公園の利用促進

3 今後の方向性

- ① 道路・橋梁及び上下水道施設の長寿命化を図ります。
- ② 下水道事業の安定的な経営のため、料金の適正化を図ります。
- ③ 海浜運動公園の利用者を増やすため、PR活動及び利用者の利便性の向上を図ります。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
長寿命化を図った橋梁数	1橋	3橋	5橋
下水道処理施設の老朽化率 ※老朽化率=経過年数÷経済的耐用年数×100 (低い方がよい)	60%	50%	40%
海浜運動公園利用者数	14,000人	20,000人	28,000人

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり

施策1)暮らしやすい むらづくり

基本事業2)時代に即した快適で便利な環境整備

1 5年後のめざす姿

○村民がデジタル技術により、快適で便利に暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・各証明書のコンビニ交付
- ・住民のマイナンバーカード保有率

【改善したいこと】

- ・役場に行かないとできない申請
- ・来庁者の役場滞在時間

3 今後の方向性

- ① デジタル技術を活用し、役場に行かなくてもできる手続きを増やします。
- ② デジタル技術を活用し、来庁者の役場滞在時間を短縮します。
- ③ マイナンバーカード保有率 100%を目指し、マイナンバーカードの利用による利便性の向上を図ります。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
役場に行かなくてもできる 手続き数	10件	20件	30件
マイナンバーカードの保有 率	86.70%	95%	100%

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策2)安心安全な むらづくり
基本事業1)安心安全なむらづくりの推進

1 5年後のめざす姿

○村民が災害・事故・犯罪から生命や財産を守ることができています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・自治会ごとの自主防災組織の設置
- ・関係機関及び地域をあげての子どもの見守り活動
- ・防災士の増加

【改善したいこと】

- ・消防団の新規入団者数
- ・消防技能の承継
- ・歩行者等交通弱者の安全意識
- ・個人の防犯意識

3 今後の方向性

- ① 自主防災組織や防災士、消防団が連携し、地域防災力をさらに高めます。
- ② 消防団の新規入団者を増やし、技術の承継を進めます。
- ③ だれもが交通安全意識を高めるための啓発に取り組むとともに、子どもや高齢者などが事故に遭わないよう、関係機関との連携を進めます。
- ④ だれもが犯罪に巻き込まれない安全安心な環境をつくるため、自治会をはじめ関係機関・団体と連携し取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
防災訓練の参加人数	400人	450人	500人
交通事故件数 (人身事故の発生件数)	6件 (R6実績)	0件	0件

※鳥取県警察交通事故統計より

政策2)自然と調和する 住みよいむらづくり
施策2)安心安全な むらづくり
基本事業2)環境にやさしい暮らしの推進

1 5年後のめざす姿

○村民や企業が環境への負担の軽減に取り組み、安心して住みやすい持続可能な村となっています。

2 前期基本計画での成果と問題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量 ・リサイクルの推進 ・環境美化活動の取組 ・CO2 削減の取組 	<p>【改善したいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境意識
---	--

3 今後の方向性

- ① 村民の健康の保護及び快適な生活環境を確保します。
- ② 人と自然とのふれあいの確保及び生態系に配慮した自然環境を保全します。
- ③ 地域の特性を活かした景観の形成その他自然、文化、産業等の調和の取れた快適な環境を創造します。
- ④ 資源の循環的利用、エネルギーの有効利用及び廃棄物の減量を推進します。
- ⑤ 地球環境保全に資する取組を推進します。

4 成果目標指標【KPI】

		現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
1人当たりの1日のごみの排出量 (資源ごみを除く)	家庭	436g/日 (R6実績)	426g/日	417g/日
	事業所	397g/日 (R6実績)	397g/日	397g/日
ごみのリサイクル率	家庭	18% (R6実績)	19%	20%
	事業所	72.2% (R6実績)	72.2%	72.2%

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策1)元気に暮らす むらづくり
基本事業1)健康づくりの推進

1 5年後のめざす姿

○住民一人ひとりが主体的に健康づくりへの取組を行うことで、健康寿命が伸びています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・保健・医療情報の分析に基づいた保健事業の実施
- ・健康づくりの会、食生活改善推進委員会と連携した健康づくり・食育の取組

【改善したいこと】

- ・村民の健康意識の向上
- ・保健・介護・医療・福祉に関わる団体や機関の連携

3 今後の方向性

- ① 生活習慣改善、生活習慣病の早期発見のために、健診の受診をさらに勧奨します。
- ② 健康に関する知識の啓発や動機付けを行い、子どもから高齢者まで、誰もが主体的に健康づくりに取り組める環境を整えます。
- ③ 村内の保健、介護、医療、福祉の連携を密にし、包括的な支援体制の充実を図ります。
- ④ 新たな感染症の発症に対し、迅速に対応できる体制を整備します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
特定健診受診率	51% (R6)	58%	60%
健康寿命と平均寿命の差	男1.53歳 女3.26歳 (R4年度)	男1.52歳 女3.25歳	男1.51歳 女3.24歳
要介護2以上の要介護認定率	9.5% (R6)	9.5%	9.5%

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策1)元気に暮らす むらづくり
基本事業2)ささえあいのむらづくりの推進(※改称)

1 5年後のめざす姿

○地域のだれもがささえあい、安心して暮らしています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

・関係機関(医療機関、福祉事務所、地域包括支援センター等)と連携した相談支援やサービス調整

【改善したいこと】

・分野・属性問わず包括的に相談(一次相談)を受け止め、必要な支援等につなげる

3 今後の方向性

- ① 地域のだれもが自ら望む暮らしを継続できるよう、関係機関と連携して生活支援を行います。
- ② ささえあいサポート拠点施設を中心とした、居場所づくりや「ボランティア活動の拠点」、「地域の課題を話し合える場」等の充実を図り、地域づくりのネットワークの機能強化を図ります。
- ③ 福祉分野の相談窓口を一本化するなど機能集約化を図り、包括的な支援体制の整備を推進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
福祉施策の満足度 (村民アンケート)	1.73点	-	2点以上
ささえあいサポート拠点 施設での活動グループ数	-	年間30組	年間45組

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
 施策2)活力ある むらづくり
 基本事業1)持続可能な農業と商工の振興(※改称)

1 5年後のめざす姿

- 農業者が生産力を維持するとともに、農作物の価値を高め、安定した収入を得ています。
- 地元の中小企業・小規模事業者が安定した経営を継続できています。

2 前期基本計画での成果と問題

- | | |
|---------------|------------|
| 【成果】 | 【改善したいこと】 |
| ・農地の集約化 | ・畑地の荒廃化の防止 |
| ・農作業お助け隊 | ・製品のブランド化 |
| ・中小企業、新規創業の支援 | |

3 今後の方向性

- ① 担い手が安心して農業に従事できるよう、経営の安定強化に向けて、生産性の向上を図ります。
- ② 農作物及び加工品をブランド化し、農家の安定した収入の確保を促進します。
- ③ 小規模・高齢農家の方が農業を生きがいとしてとらえ、直売所等への出荷を通じて、いきいきと生活できるよう支援します。
- ④ 農地利用の最適化に向け、県、関係機関と連携を図りながら、荒廃農地の解消・発生防止に努めます。
- ⑤ 関係機関と連携し、中小企業・小規模事業者の経営状況やニーズの把握に努めるとともに、経営の安定及び経営力の向上、円滑な事業継承や新規創業を支援します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
担い手農業者への農地の利用集積・集約化	47.16ha	56ha	65ha
認定農業者数(農業経営改善計画の認定数(広域認定を含む))	6人	6人	7人
20年以上経営している村内中小企業数	43社 (R7.12.31時点)	43社 (R10.12.31時点)	43社 (R12.12.31時点)

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策2)活力ある むらづくり
基本事業2)移住定住の促進

1 5年後のめざす姿

○若者が日吉津村を移住や定住先として魅力を感じています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・人口の増加
- ・子育て環境の充実
- ・新築住宅の増加
- ・様々な商業施設の開発による賑わいのある地域

【改善したいこと】

- ・都市部への魅力発信
- ・働く場が不足しているという認識
- ・未活用の建築可能な土地の活用促進
- ・20代に絞った移住定住施策

3 今後の方向性

- ① 村外県外で暮らす本村出身の学生や社会人がつながりを深め、Uターンを促進します。
- ② 空家、未活用の建築可能な土地、住宅の取得を促進し、転入者の増加を図ります。
- ③ 20代を主なターゲットにした移住定住対策に取り組みます。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
人口の社会動態 (転入と転出による人口の増減) ※年平均3人増	-19人 (R7.12.31時点)	+12人 (R8.1.1~R10.12.31)	+15人 (R8.1.1~R12.12.31)
Uターン者数	21人 (R7.1.1~R7.12.31)	80人 (R7.1.1~R10.12.31)	120人 (R7.1.1~R12.12.31)
20代の人口 ※毎年、転入者－転出者を算出し、 基準の291人に合算	291人 (R7.12.31時点)	320人 (R10.12.31時点)	340人 (R12.12.31時点)

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策3)ともに築く むらづくり
基本事業1)協働のむらづくりの推進

1 5年後のめざす姿

○地域の特性や人の繋がりを活かし、村民が主体的に参画と協働のむらづくりを行っています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・自治基本条例を基にした村民が主役の協働のむらづくり
- ・コミュニティ団体などによる村民主体の地域づくり

【改善したいこと】

- ・自治会役員のなり手
- ・若者の参画機会

3 今後の方向性

- ① 誰でも参画しやすい自治会環境づくりを促進します。
- ② 協働のむらづくりで、若者の参画を促進します。
- ③ 自治基本条例をさらに普及啓発し、参画と協働のむらづくりを推進します。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
地域活動に参加している方の割合(村民アンケート)	-	60%	70%

※用語説明

コミュニティ団体…共通の地域、目的、趣味を持つ人々が集まり、相互のコミュニケーションや助け合いを通じて、住みよい地域づくりや課題解決を行う組織のこと。

政策3)健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策3)ともに築く むらづくり
基本事業2)地域の魅力発信(※新規)

1 5年後のめざす姿

○住民が日吉津村に誇りと愛着を持つとともに、村外の方が日吉津村に魅力を感じむらづくりに関わっています。

2 前期基本計画での成果と問題

【成果】

- ・日吉津村独自の価値や魅力の発見
- ・ふるさと納税新規返礼品の増加
- ・観光分野の機運醸成

【改善したいこと】

- ・日吉津村の魅力の発信
- ・観光分野の体制の構築

3 今後の方向性

- ① 観光資源を磨き上げ、魅力を効果的に発信するとともに、観光推進体制を構築し観光を振興します。
- ② 住民が地域資源の魅力さをさらに感じる機会を増やします。
- ③ ひえづ村民の日条例を制定し、趣旨にふさわしい取組を行います。
- ④ 日吉津村の魅力発信やふるさと納税をとおり、日吉津村のファンを増やします。

4 成果目標指標【KPI】

	現状値 2025(R7)年度	中間目標値 2028(R10)年度	最終目標値 2030(R12)年度
観光入込客数 (村内施設※海浜運動公園)	14,000人	20,000人	28,000人
ふるさと納税のリピーター数 ※複数回寄附者数(年間5人増)	88人 (R7.1.1~R7.12.31)	105人 (R7.1.1~R11.3.31)	115人 (R7.1.1~R13.3.31)